# 三菱半導体におけるSCMの改善

足立郁孝*　田村義明**
市原健一*
山本晋也*

## *Innovation for Semiconductor SCM*

*Ikuyoshi Adachi, Kenichi Ichihara, Shinya Yamamoto, Yoshiaki Tamura*

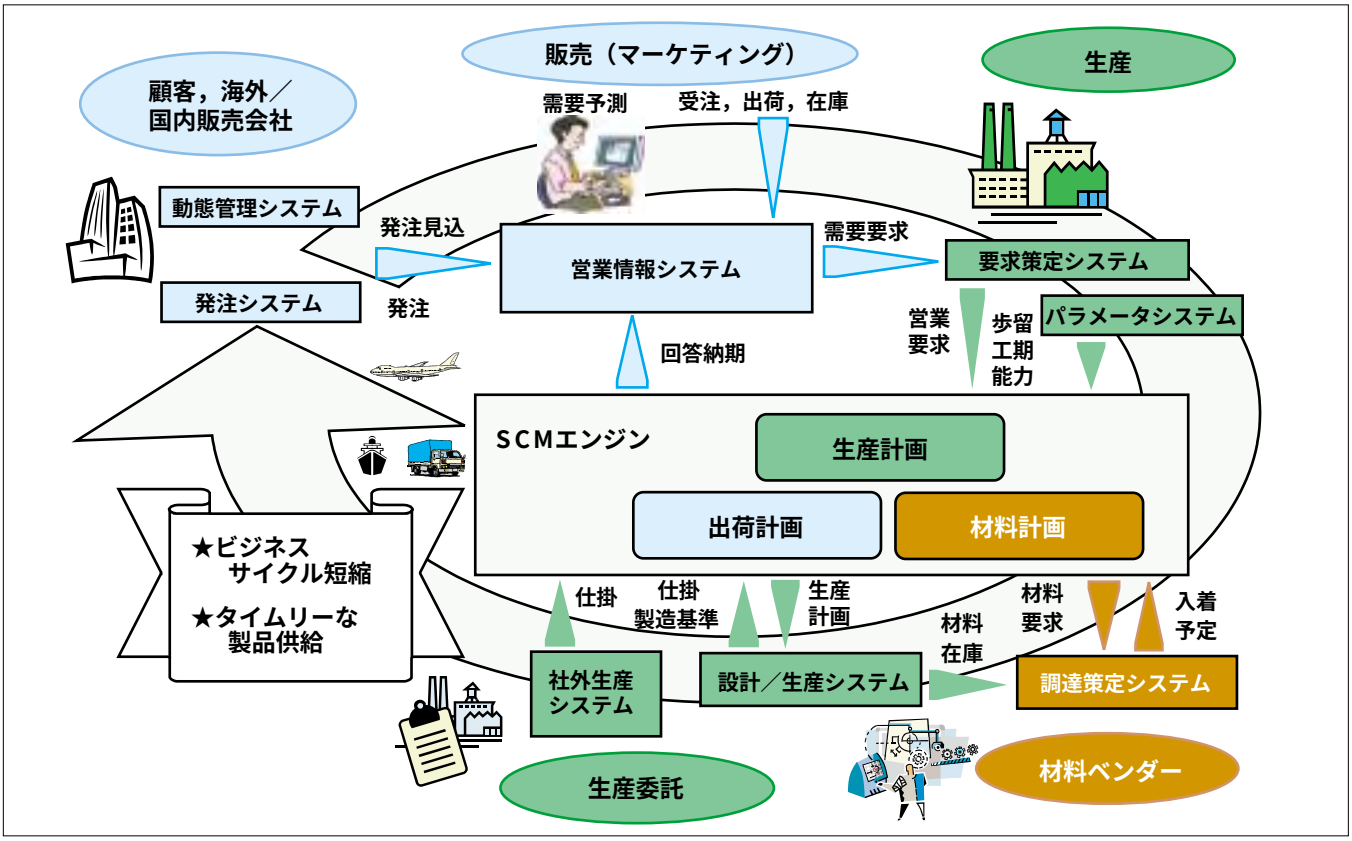
**要　旨**

三菱電機の半導体事業では顧客志向並びに市場変化に追随するため，パワーデバイス製品及び高周波・光デバイス製品を対象にグローバルな需給予測・受注・出荷・在庫情報を基に経営意思決定を行い，顧客へのタイムリーな製品供給を実現する“半導体サプライチェーンマネジメントシステム（SCM）”を2003年10月に国内外販売・生産拠点に導入した。

導入後は，SCMのパフォーマンスを測る評価指標を用いて運用状況を把握し，定着化を実施していく過程で，需要予測・納期回答・生産計画の精度，部材調達への適用，業務効率化，運営体制の確立などの新たな課題を抽出した。

これら課題の早期解決，適用業務及び適用機種拡大に向けて2006年に販売・生産・情報システムメンバーで構成する“SCM推進プロジェクト”を発足，納期遵守率向上，計画立案工期短縮，業務効率化を実現し，事業力強化を図った。

本稿では，SCM導入後の更なる顧客満足度向上，需要動向変動に対するタイムリーな生産計画への反映，業務効率化，計画立案工期短縮などを実現するための定着化（効果刈り取り）プロセスで直面した課題に対する販売面，生産面での解決施策事例，成果，今後の方向性について述べる。




**半導体サプライチェーンマネジメントシステム概要図**

需要予測，受注，生産，材料調達，出荷，物流の各ビジネスプロセスの相互連携，最適化による半導体サプライチェーンマネジメントシステムである。

*半導体・デバイス業務統括部　**情報システム技術センター